

天橋立を世界遺産に！

美しいふるさとを子ども達に残そう

天橋立を世界遺産にする会

天橋立を世界遺産にする会事務局

宮津市企画財政室企画係
〒626-8501 京都府宮津市字柳縄手 345-1
電話 0772-22-2121 (内線 221)
FAX 0772-25-1691
E-mail hashidate@city.miyazu.kyoto.jp
<http://www.city.miyazu.kyoto.jp/~hashidate/>

**天橋立を世界遺産にする会
平成 19 年 12 月 27 日に設立総会を開催**

知遊館（与謝野町）において、「天橋立を世界遺産にする会」の設立総会を開催しました。



○主な内容

①規約の作成

規約の中で、会の目的が「我が国の宝である天橋立を中心とする地域を保全し、将来に継承するとともに、地域の誇りとしてその魅力を高めていくため、世界遺産の登録を目指し、もって地域社会の発展に寄与することを目的とする」であることを確認しました。

②役員を選出（会長、副会長、理事、監事）

会長に就任した今井一雄宮津商工会議所会頭は「ここに住む私たち自身が天橋立の歴史、価値を再認識し、世界遺産に向けた気運を盛り上げるとともに、これを地元から全国、世界へ積極的に発信していきたい」と述べました。

③平成 19 年度事業計画及び予算

今年度は、勉強会・シンポジウムの開催、DVDの作成等を進めることが確認されました。（予算規模約 100 万円）

**会の取組みの検討状況
(平成 20 年 3 月 10 日現在)**

天橋立を世界遺産にするための気運の盛り上がりを図るため、今後の取組みを検討する理事会を開催しています。

- 第 1 回理事会 平成 20 年 1 月 18 日（金）
- 第 2 回理事会 平成 20 年 2 月 4 日（月）
- 第 3 回理事会 平成 20 年 3 月 10 日（月）
- *その他、戦略検討チーム会議などを開催

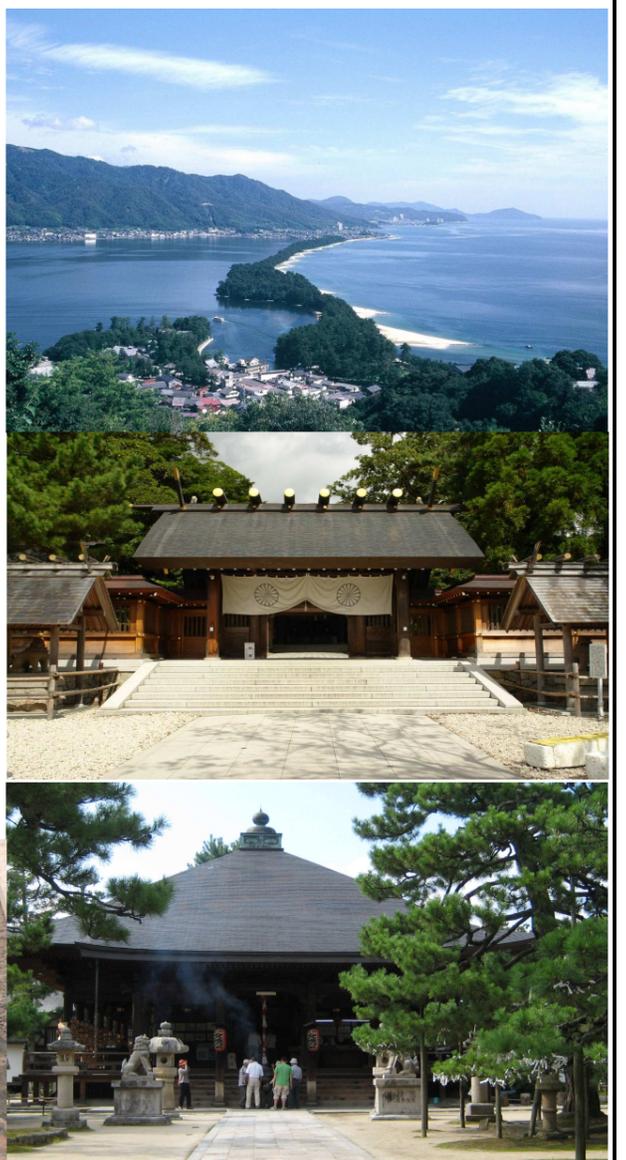
○主な議題・検討状況について

- ① 会の中に運営の基本的な戦略を検討する「戦略検討チーム」を設置するとともに、具体の活動を展開していくための「情報発信部会」及び「資産保全活用部会」を設置しました。
- ② 天橋立世界遺産シンポジウムの開催、PRのための懸垂幕の作成について検討を行いました。（裏面参照）
- ③ 世界遺産出前講座（仮称・パワーポイントによる天橋立の価値の説明等）の実施に向けて調整中です。
- ④ 会に顧問、特別委員を置き、国会議員、文化人、財界人、学識経験者の方などに就任を依頼することとしました。（現在調整中）
- ⑤ PRのための名刺シールを作成することとし、そのデザインを検討中です。
- ⑥ その他、各種イベント等を活用し、PRを行うこととしました。

「天橋立-日本の文化景観の原点」について

平成 19 年 9 月 27 日に、京都府、宮津市、与謝野町、伊根町が世界遺産の候補として、文化庁に共同提案を行った提案書の概要は以下のとおりです。

- ・ 天橋立は、日本を代表する海洋景観であり、周辺の歴史宗教遺産群と融合したその景観は、日本的美意識を物語る文化景観である。
- ・ 特に、天橋立の美しい白砂青松の海洋風景は、平安時代には庭園の理想とされ、藤原道長の土御門殿の庭が天橋立に比された。また、世界的な名園・桂離宮や、世界遺産の苔寺、金閣寺、銀閣寺にもモチーフとして継承され、日本庭園の景観の重要な原型となるとともに、雪舟筆の国宝「天橋立図」などの絵画や和歌の歌枕等、芸術・文化へ大きな影響を与えた日本の文化景観の代表と言える。
- ・ 奇観としての天橋立は、海中他界信仰に連なり、奇観から生まれた説話が実体の力を得、名勝を生み出すという日本的な文化形成の一側面が端的に現れた例である。
- ・ 人と自然景観が相互の働きかけの中で、それを昇華してきた日本人の文化性・精神性を理解する上で欠かすことのできない文化景観であり、世界遺産としての価値を有する。



懸垂幕を作成しました

世界遺産登録への気運の盛り上がりを図るため、また、会の認知度向上を図るため、懸垂幕を作成しました。

懸垂幕に記した言葉「天橋立を世界遺産に！ 美しいふるさとを子ども達に残そう」を今後、様々な場面で使用していきます。

～平成 20 年 3 月 10 日現在の掲出場所～

宮津市役所、与謝野町役場（本庁、野田川支所、加悦支所）、伊根町役場

* 今後、企業・団体等に御協力をいただきながら、更に掲出場所を増やしていく予定としています。

募集します

懸垂幕の掲出に御協力いただける企業、団体等の方。詳しくは事務局（表面右上に連絡先）までお問合せください。

天橋立を世界遺産に！
美しいふるさとを子ども達に残そう

天橋立を世界遺産にする会

天橋立まなび舎塾を開催しました

天橋立が持つ私たちが知らない歴史、隠された価値を多くの人々に再発見してもらうため、「天橋立公園継承準備委員会（事務局：京都府丹後土木事務所）」との共催による「天橋立まなび舎塾」を開催しました。

○第 1 回（H19.12.18）

講演 「籠神社」神秘なる世界を訪ねて
（籠神社 禰宜 海部毅成氏）

○第 2 回（H20.1.15）

講演 「天橋立」は地域の宝
（京都嵯峨芸術大学芸術学部教授 真板昭夫氏）

○第 3 回（H20.1.30）

講演 天橋立の自然と景観美
（佛教大学文学部教授 植村善博氏）

○第 4 回（H20.2.13）

パネルディスカッション
阿蘇海からみる天橋立の四季－暮らしと漁業の移り変わり－
（コーディネーター 丹後郷土資料館 資料課長 井之本泰氏
パネリスト 地元漁業者、地元住民ら）

○第 5 回（H20.2.27）

講演 天橋立を望む視点と歴史的景観の変遷
（京都府立大学人間環境学部准教授 深町加津枝氏）

天橋立に関心をお持ちの方など、延べ 410 名の参加をいただきながら、盛況のうちに終えることができました。

今後も、様々な勉強会等を通じ、天橋立の価値をみなさんと一緒にみつめていきたいと思っております。

天橋立世界遺産シンポジウム**日本の文化的景観の原点「天橋立」**

○日 時 平成 20 年 3 月 15 日（土）

午後 1 時 30 分から

○場 所 宮津会館（入場無料）

宮津市字鶴賀 2164

●講演

「描かれた天橋立－名所絵から風景画へ」

並木誠士氏（京都工芸繊維大学教授）

「日本庭園の原点と天橋立」仲隆裕氏（京都造形芸術大学教授）

「天橋立と宗教遺産群」 菱田哲郎氏（京都府立大学准教授）

●パネルディスカッション

コーディネーター 宗田好史氏（京都府立大学准教授）

パネリスト 並木誠士氏 仲隆裕氏 菱田哲郎氏

高橋照美氏（立命館大学非常勤講師）

吹田直子氏（京都府立丹後郷土資料館学芸員）

「特別名勝天橋立」が世界遺産たる価値－日本の絵画・庭園・宗教・詩歌・芸能に大きな影響を与えた文化芸術の源泉であり、日本の文化景観の原点－について、専門の分野から多角的に論じます。

みなさまお誘い合わせの上、ご来場いただき、一緒に天橋立を見つめ直し、世界遺産登録を目指しましょう。

その他のお知らせ

（1）天橋立を世界遺産にする会のホームページができました。

<http://www.city.miyazu.kyoto.jp/~hashidate/>

（2）世界遺産登録推進用動画（DVD）が完成しました。

今後、様々な場面で活用していきます。

天橋立を世界遺産にする会 会員募集中！

天橋立を世界遺産にする会は、天橋立の世界遺産登録を目指しその価値を世界中の人々に伝える活動を行っています。

本会の趣旨にご賛同いただき、活動に参加・応援いただける方を募集しています。

入会いただける方は、下記の事項を記載いただき、事務局まで郵送、FAX または E-mail でお申出ください。

- | | | |
|------------------|--------------------|---------|
| 1. お名前または法人名 | 2. 住所 | 3. 電話番号 |
| 4. 電子メール（よろしければ） | 5. 一言メッセージ（よろしければ） | |

* 会員の有効期間は平成 20 年 3 月末日までです。以降の入会については別途ご案内いたします。

* 年会費は無料です。ただし、平成 20 年 4 月以降については、年会費として一口（千円）以上の会費をいただきます。